

オンラインインターンシップ におけるメリットと課題

高谷 将宏

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 人財委員会確保グループ副委員長
株式会社エヌエスシー 常務取締役
尚絅学院大学 客員准教授

1.実践内容

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)では就業（職業）体験という本来の目的に合致する産学連携によるインターンシップを長年実施しており、本年度はコロナ禍という社会情勢に対応したオンラインを活用する2つのコースの5日間インターンシップを実施した。

コースは「ソフトウェア開発体験コース」と「IT業界コンサルティング営業体験コース」。

企業と学生のリアルな場での接触が難しくなっていた2020年8月に、教育機関からのインターンシップの実施という要望に応えるため、オンライン形式のインターンシップを企画・実施。

講師は地元仙台のソフトウェア企業の経営者やITエンジニア（システムエンジニア・プログラマー）が務めた。

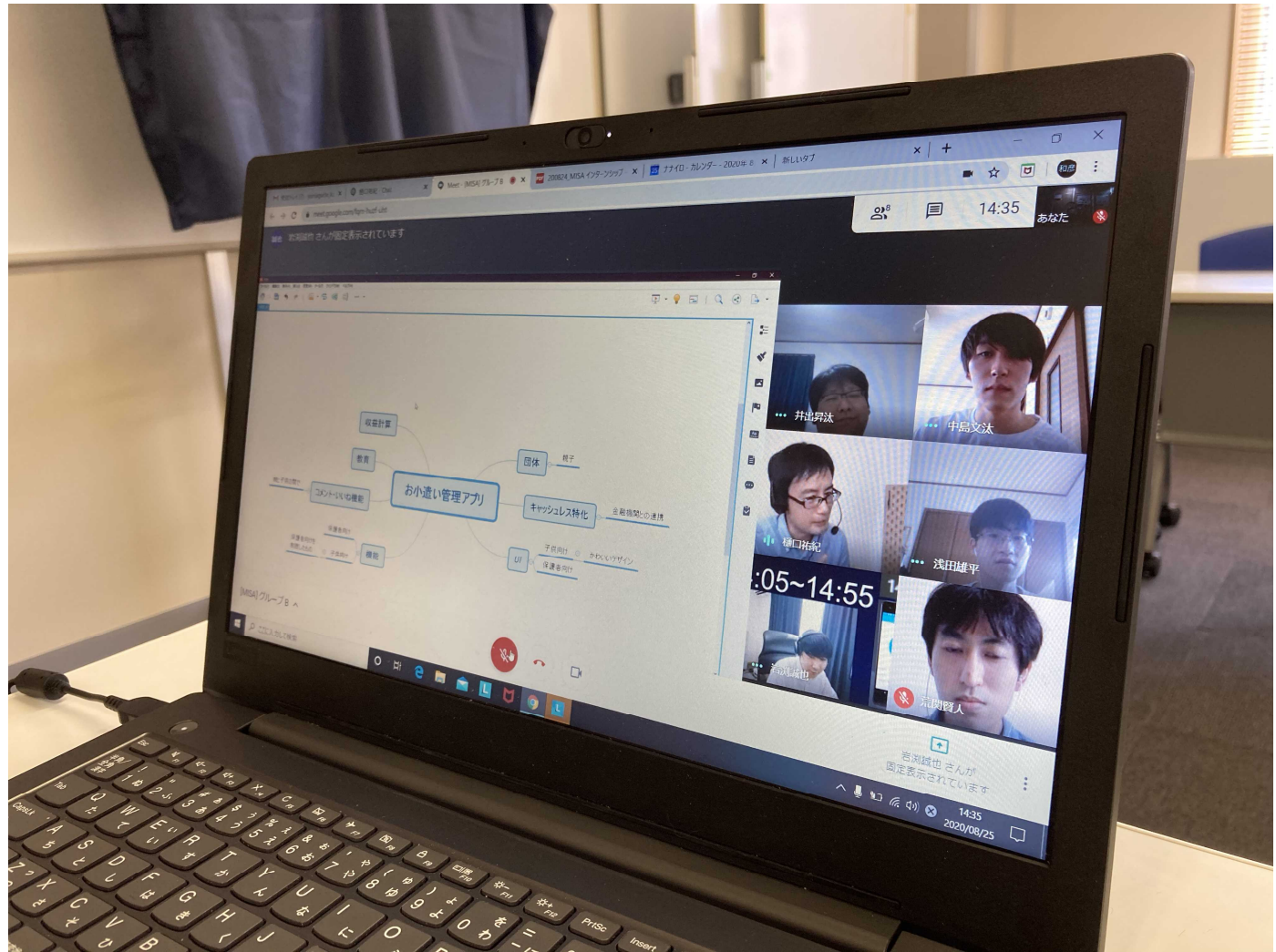


写真 講師(左上) 地元新聞社による取材(左下) 開発体験コースの1コマ(右)



宮城のICT業界としてインターンシップを長年実施



新しい生活様式での
インターンシップ



就業(職業)体験の危機

||オンライン形式||

産学連携会議を通じて関係性を強化してきました

(1) ソフトウェア開発体験コース

《情報系》ソフトウェア開発体験コース（既存スマホアプリの改修）

|目的|

実際の開発現場において必須となる「既存のプログラムを改修する」ための開発フローの体験 ≠ レクチャーの場

|修得できるスキル|

- ・ 開発環境を自ら構築する
- ・ 既存のコードを読み込む
- ・ 機能改善を提案、設計する
- ・ スマホアプリ (Android) を改修するスキル
(Flutter によるアプリ開発)

*Flutter…モバイルアプリフレームワーク。「モバイル」つまり、AndroidとiOSを同じソースを共有して、同時に作成することができるもの。2018年12月、Googleがリリース。

(2) IT業界コンサルティング営業体験コース

《文理不問》IT業界コンサルティング営業体験コース

|目的|

コンサルティング営業の経験を通してコミュニケーション、エビデンスが大切であることを知ってもらおう。

お客様の想いを開発に活かすことが遣り甲斐であり、次の仕事に続くことが達成感であることに触れ、宮城のICT業界への理解を深めてもらおうことを目的とします。

|修得できるスキル|

- ・ コミュニケーションスキル
- ・ 実務に必要な基本的なフレームワーク、ドキュメント作成法
- ・ プレゼンテーションスキル

2. メリット

《情報系》ソフトウェア開発体験コース（既存スマホアプリの改修）

- Flutterが魅力。首都圏・関西圏からの学生の参加に繋がった。
 - ←内容が学生にとって必要なものであれば、地域は関係ない。
 - ←テレワーク化が進めば、就業(職業)体験、採用も全国区。

《文理不問》IT業界コンサルティング営業体験コース

- お客様にとってもハードルが低く、参加しやすい。
 - ←これまでインターンシップを受け入れたことが無かった企業にとって、受け入れやすい。

3. 課題

- 全国区に広がるのは良いが、仙台・宮城の魅力をどの様に伝えるのかが課題。
 - ←突然、浮かび上がった大きな壁…。
 - ←全国区は嬉しいが、地元の採用に繋がるのかがやっぱり不安…。
- 何となく達成感に欠ける(気がする…)。
 - ←スタートアップ、レビュー、打ち上げ位はリアルを感じたい。
- 細かなところまで対応できたのかは、正直不安です。
 - ←やはりリアルでの「場の共有」の方が安心してしまう。

4. 学生像(主観)

2011 12歳 東日本大震災 小学校6年生

アクティブラーニング
PBL(課題解決型学習)



外部の(への)
探求、表現は上手

2020 21歳 **COVID-19** 大学3年生



自己の(への)
探求、表現は苦手

どの様に生きたい
10年後、どうありたい
何になりたい...

5. 今後に向けて

- ・ 地域で働くことの魅力、地域におけるその会社の魅力を発信。
- ・ オンラインとリアルのハイブリット型でのインターンシップ。
- ・ テレワークの良さ、課題を伝えることにも挑戦したい。
- ・ ICT業界で働くとはどのような意義・遣り甲斐があるのかを通して、ライフプラン・キャリア形成を考えてもらう場にしたい。
← 記録に残る仕事、社会のインフラとしてのICT

・ありがとうございました・